

きもの豆知識

熨斗目柄について

着物の柄には色々ないわれや歴史があります。今回は混同しやすい熨斗目柄と熨斗文様についてみていきたいと思います。

熨斗文様

熨斗目柄という、振袖や訪問着、初着などに使われる模様を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。こちらの文様は正確には「熨斗模様」といい鮑の肉を薄くはいて引き伸ばし、乾燥させた「のしあわび」のことで、延寿を象徴するものとして、結納品や引き出物に添えられました。江戸時代から吉祥文様として染織品の文様に使われ江戸中期の振袖には見事なものがあるそうです。



熨斗目柄

一方熨斗目柄とは、着物の柄付け形式の一種で、本来は袖の下部から腰あたりまで横段を、縞や格子で表したのですが、現代では腰から膝にかけて横段に柄をおいたものをいいます。もともと、縮のない平らな織物を意味する言葉で、江戸時代には武士が江戸小紋の袴の下に着用するようになり、袴の下に着映えするため、人気が出ます。そして、このような様式の柄を「熨斗目」と呼ぶようになりました。もともとは男性の柄ですが現在では女性の柄付けにも使われます。能や狂言また、歌舞伎などの衣装にも使われています。



歌舞伎のススメ

～歴代の市川團十郎②～

緊急事態宣言の全面解除を受け、世の中の動きがこれから変わっていくことと思います。まだ歌舞伎観劇は先かもしませんが、心置きなく歌舞伎を観劇できる日が待ち遠しいです。さて、先月号の続きで市川團十郎さんの5代目以降を見ていきたいと思います。30才で團十郎を継いだ5代目(1701～1806年)も江戸にはなくてはならない團十郎の芸で悩みます。「かねる」と呼ばれる1人何役も演じる早変わりのような芸で活路を見出します。しかし、このように才気には富んだ5代目ですが病弱だったため舞台への情熱を失い我が子に團十郎の名をたくします。こうして誕生した6代目(1778～1799年)は「助六」「暫」といった團十郎の芸を見事に演じ評価を得ます。こうして誕生した6代目を多く描いた絵師があつた有名な東洲斎写楽です。少し團十郎のことからはありますが、写楽はわずか10ヶ月の間に美術史に残る名作を次々と描き忽然と姿を消した謎の絵師です。写楽がなぜきえてしまったのかや、正体は誰なのか未だに謎が多いですが、阿波徳島藩主蜂須賀家お抱えの能役者斎藤十郎兵衛とする説が有力となっています。写楽が6代目を描くようになって間もなく、6代目は風邪をこじらせ22年の短い人生を終えます。我が子を失った5代目は6畳一間を借り寂しい晩年を過ごしています。その彼の姿を写楽は描いています。その1枚が右の写真にもある写楽の最高傑作のひとつでもある「恋女房染分手綱」の竹村定之進です。



あそびの玉手箱

水彩画というと、ほとんどの方が一度は描いたことのある画法で、小学校の写生大会など、一番身近で手軽に描くことのできる画法の一つです。油絵のどのように“絵具を塗ってゆく”というより、“色水を塗ってゆく”というイメージの方がむしろ適していて、空気感や透明感、臨場感などをあらわすのに最適であるといわれています。



水彩画の歴史は非常に古く、旧石器時代のヨーロッパで洞窟に描かれた絵にまで溯るとされる。少なくともエジプト王朝時代から写本彩色のために水彩は使用され、特に中世ヨーロッパでも使用され続けてきました。このように歴史のある水彩画ですが、実際のところあまり有名な画家を思い浮かべないと思いませんか。

初期の水彩画家には、アンソニー・ヴァン・ダイク、クロード・ロラン、ジョバンニ・ベネデット・カステリオーネのほかオランダ、フランドルの画家が挙げられます。といわれても、あまりピンとくる画家がいませんよね。バロック時代どちらかというと、スケッチや模写あるいは漫画(サイズの小さいデザイン画)の道具として使用されるのが一般的だったからでしょうかね。コロナ時代の家庭で始められる趣味に、水彩画はいかがですか。

～レンタルギャラリー～

趣きある和の空間に作品を展示してみませんか？

趣のある和の空間で、作品を飾ってみませんか？個人の作品から、趣味の教室(お花、写真、書道、絵画、手芸など)の作品展など、文化・芸術を育む場を提供したいという思いから、竹次郎カフェを開催の日程(毎月5日間)に限り、レンタルギャラリーとしてお使い頂きます。

レンタル期間：竹次郎カフェ開催日(毎月5日間)

料 金：1500円(5日間)

※カフェ開催日は事前にお問合せ下さい。

☎ 0563-35-0039 大橋まで

着付教室 12回

1回1000円

かわちやの
ワンポイント着付教室
1,000円

半巾帯の結び方など
ピンポイントでお教えます。

かわちやの着付教室は、それぞれの目的やスケジュールに合わせたカリキュラムを組んでいきます。

お気軽にご相談ください。
お問い合わせは 大橋幸子まで
TEL 0563-35-0039

竹次郎～ TAKEJIRO CAFE ～ コラム



今月はレンタルギャラリースペースにて、並木直子さんが水彩画を展示してくださいませ。ぜひ、ご覧下さい。

展示：6月25日(木)～29日(月)
並木直子さん 水彩画

イベント案内

ギャラリーカフェ

竹次郎 TAKEJIRO CAFE
6月25日(木)～29日(月)
緋の洋服とミスキョウコの靴を
展示いたします。